

## 草津白根山の火山活動解説資料（平成 21 年 2 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

地震活動や地殻変動には特段の変化はみられませんでした。湯釜火口の北側にあたる斜面や湯釜火口内でわずかな熱活動の高まりがみられており、今後これらの活動がさらに高まった場合には、火口内で噴出等の現象が発生する可能性がありますので注意が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 2～図 5）

13 日に上空からの観測（群馬県の協力による）を実施しました。

湯釜火口内北東部では引き続き高温部分<sup>1)</sup>が確認されました。東京工業大学の観測によると、湯釜火口内北東部の噴気孔周辺の地中温度は引き続き高温の状態が続いており（図 6）17 日には、湯釜火口内北壁で新たな噴気が認められました。

また、北側噴気地帯では、数カ所から噴気が認められましたが、2008 年 11 月 11 日の観測と比べ、噴気の勢いは弱くなっていました。

逢ノ峰（湯釜の南約 1 km）に設置してある遠望カメラでは、湯釜火口縁を超える噴気は確認されませんでした。

1) 赤外線熱映像装置により観測しています。赤外線熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

#### ・地震や微動の発生状況（図 6、図 7 - ）

山体を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 7 - ）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

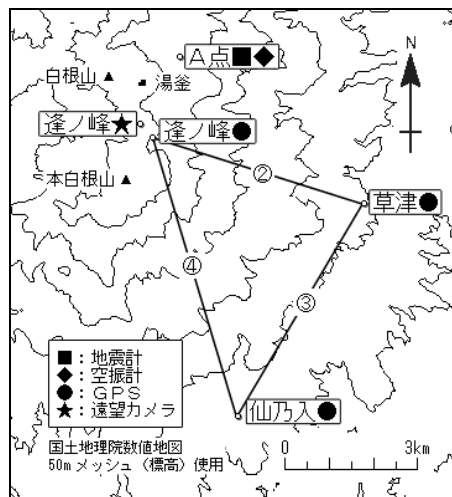


図 1 草津白根山 気象庁の観測点配置図  
（小さな白丸は観測点位置を示しています）  
GPS 基線 ~ は図 8 の ~ に対応しています。

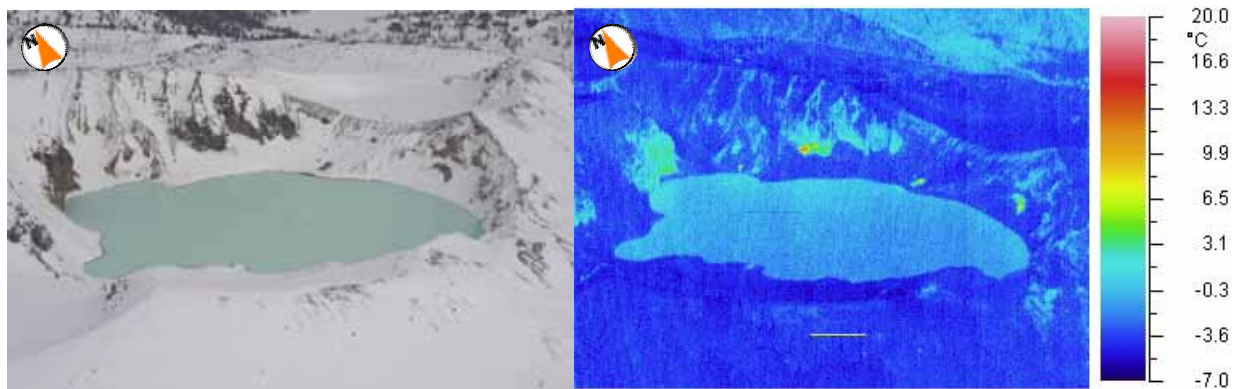
この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 3 月分）は平成 21 年 4 月 7 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、東京工業大学のデータも利用して作成しています。

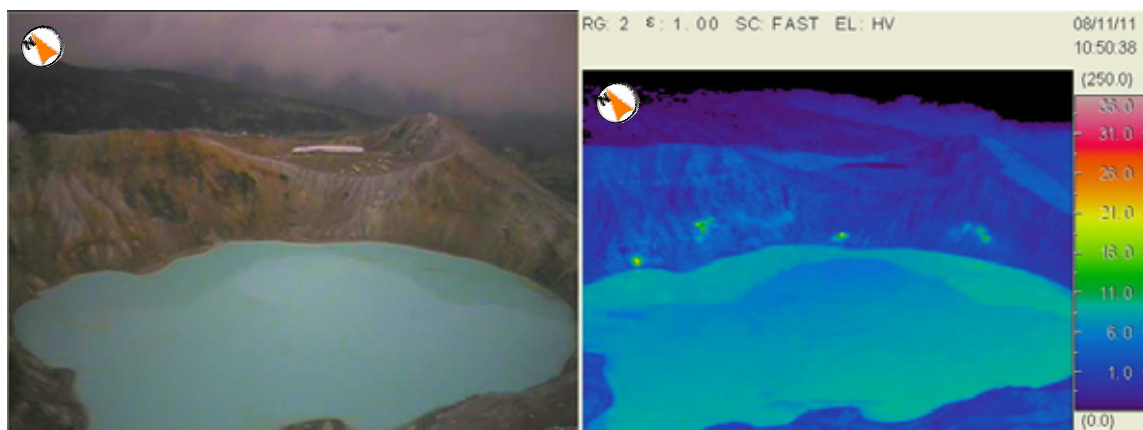
資料の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』『数値地図 25000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。



図2 草津白根山 湯釜付近の状況(2月4日、逢ノ峰遠望カメラによる)

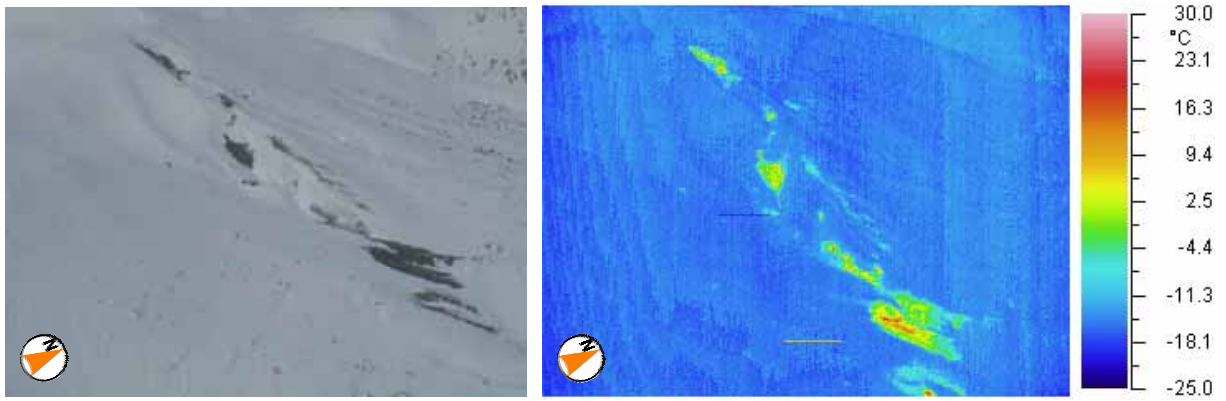


2009年2月13日、南西上空から撮影

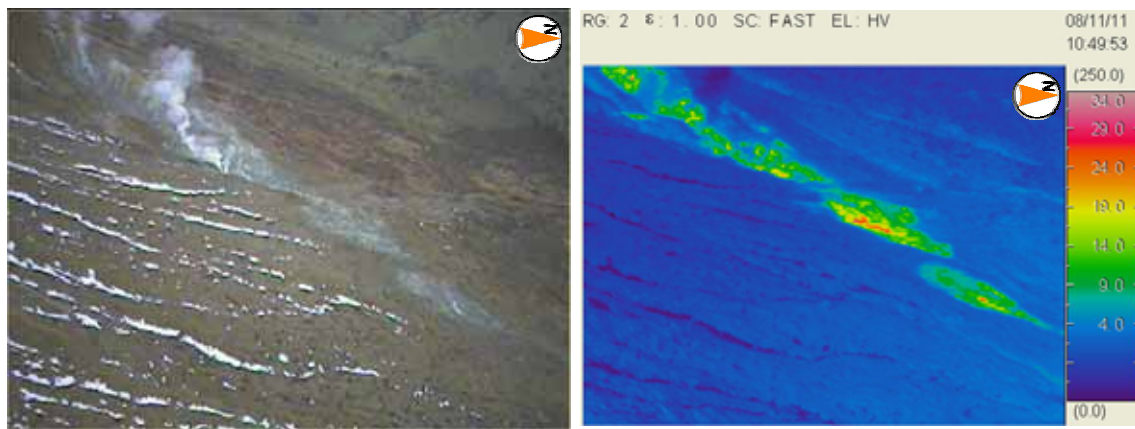


2008年11月11日、南西上空から撮影

図3 草津白根山 湯釜火口北東部の状況及び地表面温度分布  
・湯釜火口内北東部では、引き続き高温部分が確認されましたが、領域の拡大はありませんでした。



2009年2月13日、東上空から撮影



2008年11月11日、北東上空から撮影

図4 草津白根山 北側噴気地帯の噴気の状態及び地表面温度分布  
・2008年11月11日の観測と比べ噴気の勢いは弱くなっていました。

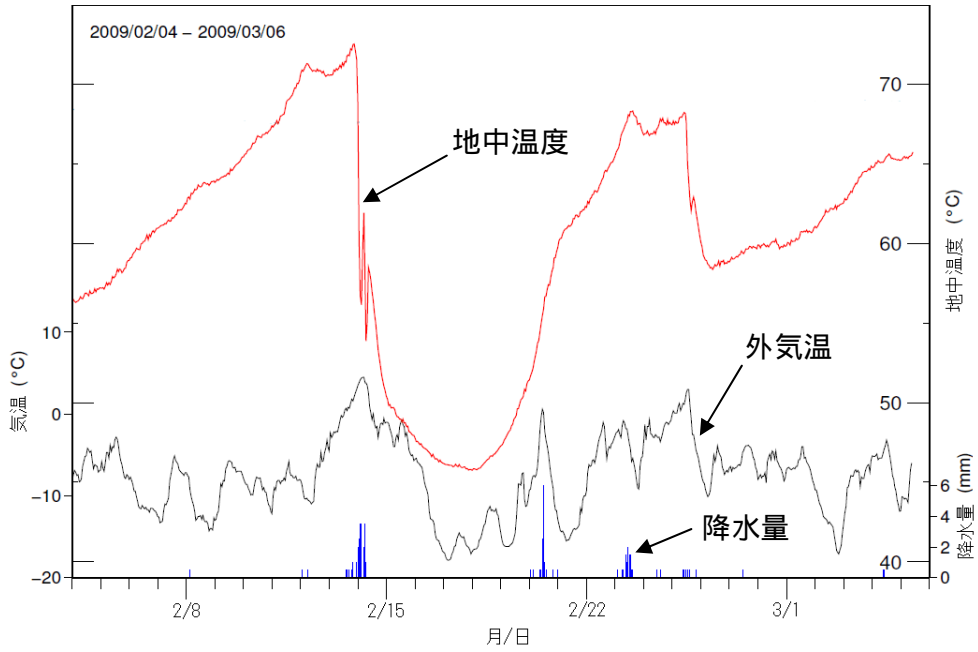


図5 草津白根山 湯釜火口内北東部の噴気地帯 地中温度と外気温  
(2009年2月4日～2009年3月6日、東京工業大学による)

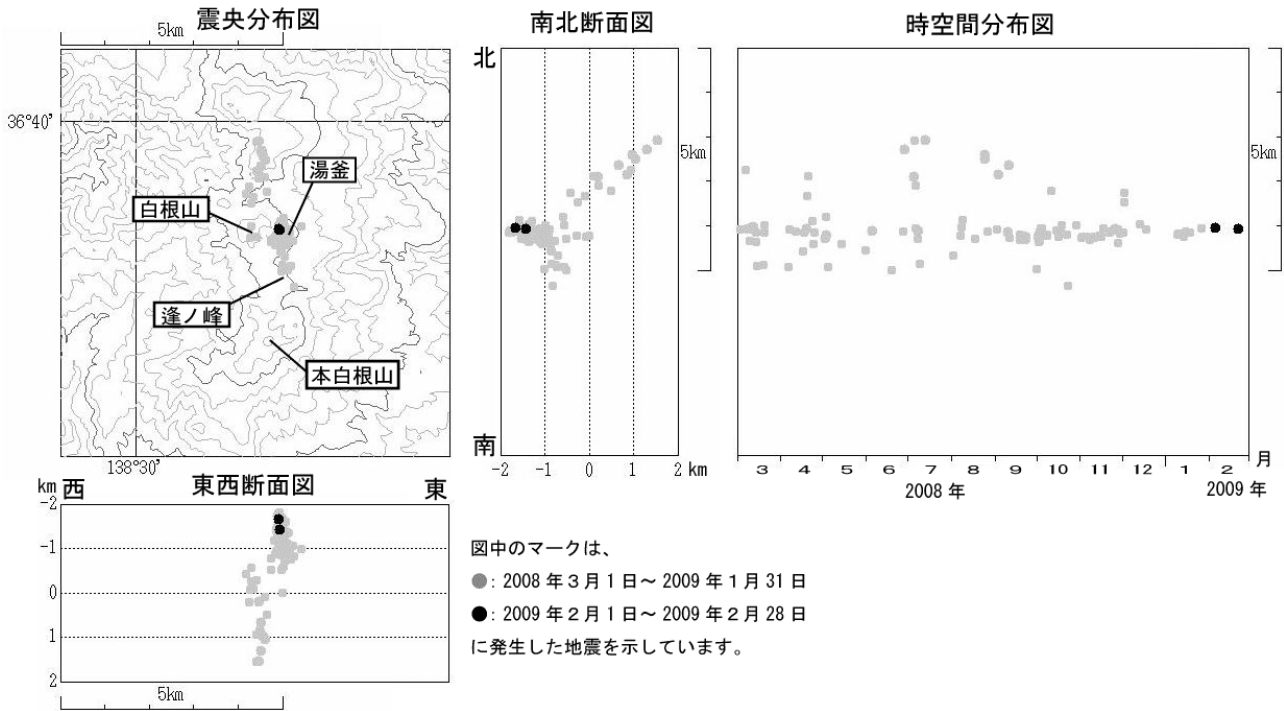


図6 草津白根山 震源分布図(2008年3月1日～2009年2月28日)

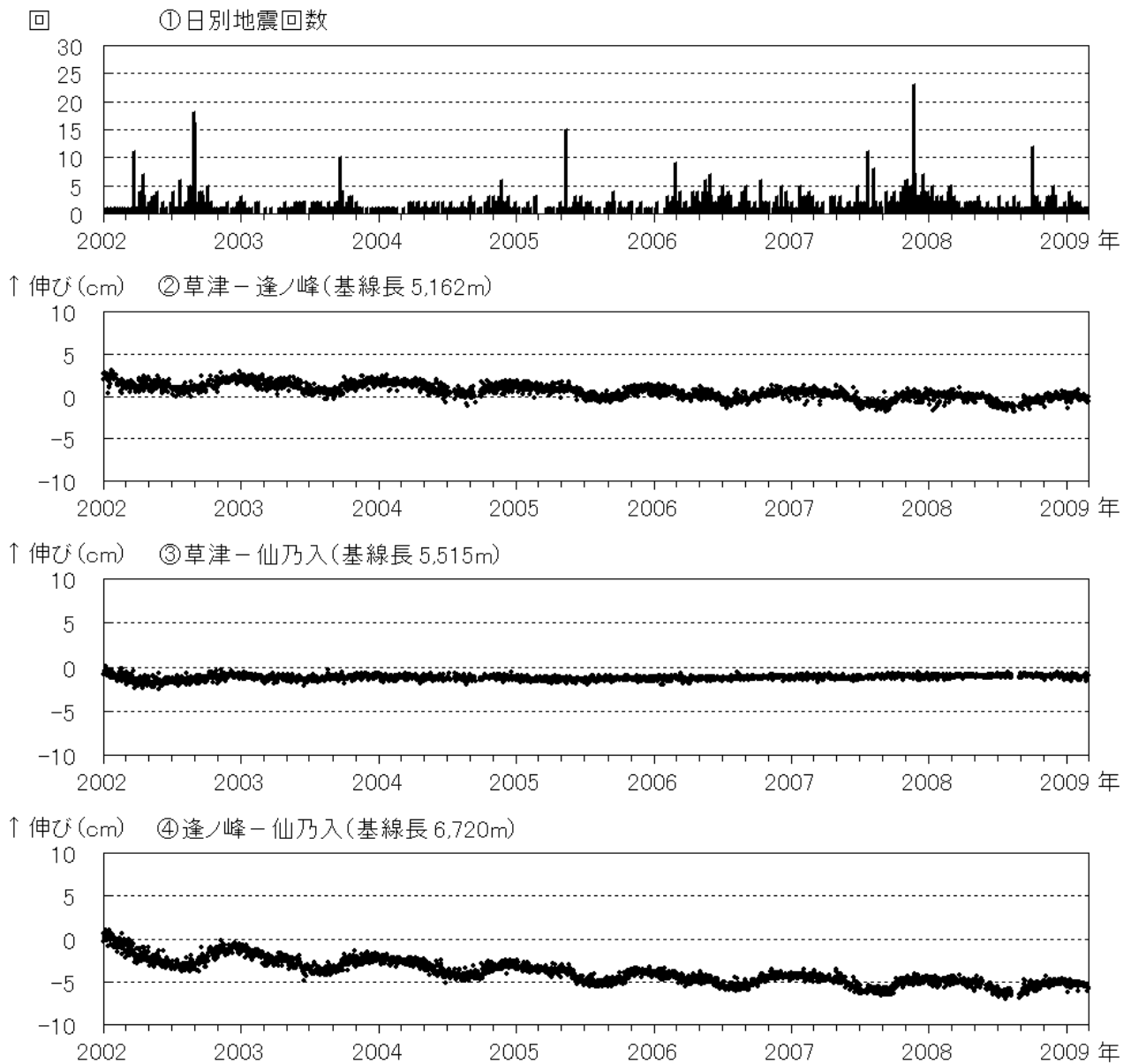


図7 草津白根山 最近の火山活動の推移(2002年1月~2009年2月)

山体付近に発生した地震の日別回数  
 ~ GPS連続観測による基線長変化  
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。  
 ~ は図1の ~ に対応しています。